

下林コース

距離／約2km 所要時間／約1時間

下林のなりたち 古くは衣下之郷に住し、洪水に悩まれ高台に移住された。下林は元和4年(1618年)に衣郷金谷村から分村され今日に至る。



1 勝手神社(下林町7丁目)

寛文5年(1665年)5月、勝手大明神は衣下之郷(現在の元宮町)から現在地(下林町宮ノ腰、当時は供膳寺原という)へ遷宮された。三河代官鳥山牛之助が禰宜鈴木彦左衛門の願いを許し、この地を下げ渡されたからである。以後344年有余、下林の氏神、鎮守の神として祭祀されてきた。



2 根川学校跡(下林町7丁目)

明治5年(1872年)の学制発布に伴い、明治6年、根川6か村(現在の長興寺、金谷、下林、下市場、平和、今)に下市場学校が設立された。その後、明治11年(1878年)に根川学校が下林(現在の根川こども園)に新築移転された。明治25年に下林尋常小学校と名称が変更となった。その後児童数が増加し、明治44年(1911年)に現在の根川小学校の位置に移転した。



3 地藏堂(下林町3丁目)

地藏堂には、阿弥陀如来、大日如来、地藏菩薩、不動明王、弘法大師の諸仏が安置されている。地藏堂の建てられた時期は不明である。文政8年(1825年)の三河加茂郡新四国40番札所として、その名前がある。本尊の地藏菩薩は、舟形浮き彫りの石仏で全長90cmの延命地藏である。江戸中期(1700年代)地藏信仰を初めとして諸仏の民間信仰が盛んとなりその頃に建てられたと思われる。



4 馬頭観音(左)八海山(右)(下林町3丁目)

(左)馬を家族同様に扱い大切に祀ったもので、馬の顔が彫られた三面の石塔。
(右)長野県の御嶽山五合目に祀られている「目の神様」の分身として祀られる。



5 秋葉山常夜燈(下林町3丁目)

遠く秋葉大社(静岡県)の方向が見渡せる東の台地に常夜燈が建てられた。火の守護神への秋葉信仰が盛んであった文政5年(1822年)、村中の安全を祈願して建立され、村人が交代で火を燈し祈願していた。現在も秋葉講として、秋葉神社への参拝が行われている。



6 稲荷塚古墳(下林町1丁目)

約1500年前(古墳時代中頃)、この地方の有力な豪族の墓として築かれた。江戸時代中期(18世紀頃)には狐塚と呼ばれていたが、嘉永5年(1852年)には稲荷社を祀り、以後、稲荷塚と呼ばれるようになった。古墳の上には大松があり、遠くから眺められ、岡崎道を行く人の目印となっていた。松は松喰い虫の被害で枯れ、今は豊田市の木である樺に変わっている。古墳は豊田市に200数箇所あるが埴輪の出土が確認されている所は4箇所、大変貴重な古墳である。



7 踊躍山善宿寺(ゆやくさんぜんしゅくじ)(下林町5丁目)

貞治5年(1366年)、天台宗の僧「空教」沈ヶ淵に道場として創建された。後に、現在地の台地に再建された。時代は不明。4世「寿世」の時、蓮如上人の教化により浄土真宗に改める。永禄11年(1568年)7世「空道」の時、金谷城の織田信長の家臣、佐久間信盛によって、寺宝・古文書を焼失。後に「空道」は天正元年(1573年)寺を再興、中興の祖と呼ばれる。現在の本堂は昭和3年着工、昭和24年完成。参詣席の欄間には六道(地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・天上界・人間界)の天上界を表した立派な彫り物がある。境内には、明治の初め、教育熱心で寺子屋教育に当たった「藤谷一龍」の墓標がある。また、枝下用水を造った西沢真蔵の碑がある。豊田市名木指定シイの大きな木がある。胸周り2.90m、根回り12.80m、高さ23.00mである。



歴史の香る

散歩みち

朝日丘地域
下林コース

ハイブッドシティ
環境モデル都市 とよた

朝日丘まちづくり委員会

朝日丘地域全体図

拳母城（七州城）

最初の城は衣金谷城で延慶3年（1310年）足利尊氏の家臣中条影長が衣城を築く。のち慶長9年（1604年）三宅康貞が陣屋（桜城）を構え、一時天領となるが、天和1年（1681年）本多忠利が陣屋を継ぎ「拳母」に改名。寛延2年（1749年）内藤政苗が陣屋に広大な城を築城するが、矢作川の洪水で断念。天明2年（1782年）童子山へ移転し、同5年に本丸城郭整うが、外郭は未完成のまま明治4年（1871年）拳母城廃城となり、公売される。



- | 凡 例 | |
|--------|-----------------------|
| 三軒屋コース | 歴史の香る散策コース（三軒屋・小坂コース） |
| 小坂コース | 歴史の香る散策コース（樹木・金谷コース） |
| 樹木コース | 枝下緑道コース |
| 金谷コース | 下市場・長興寺・下林コース |
| 下林コース | 陽だまり |
| 下市場コース | |
| 長興寺コース | |

① 陽だまり散歩みち（各自治区コース）

地域の方々が無理なく歩ける身近な散歩道とし、近隣住民が気軽に集い、おしゃべりができるたまり場（陽だまり）をコース途中に設けます。公園や神社など、トイレや休憩施設があるところを陽だまりとしますが、陽だまりによっては、新たにベンチや東屋などを設置します。

② 歴史の香る散策コース

地域の中でも、多くの歴史的・文化的な地域資源がある金谷～樹木地区、小坂～三軒屋地区を巡るコース。樹木の古い町並み、拳母城（七州城）、毘森公園などの見所があります。「三軒屋・小坂コース」と「樹木・金谷コース」の2コースです。

③ 枝下緑道コース

枝下緑道を経由して下市場～長興寺～下林を巡るコースです。桜並木や水辺などの自然、長興寺をはじめとする寺社などの見所があります。

